

病理と臨床

Pathology and Clinical Medicine

〔創刊〕1983年1月
 〔発行日〕毎月1日発行
 〔発行部数〕5,000部
 〔判型〕B5変型判・約100頁
 〔組仕様〕本文横組・縦2段
 〔印刷〕オフセット印刷
 〔製本〕無線とじ
 〔1部定価〕3,300円
 (本体3,000円+税10%)
 *通常号12冊+臨時増刊号1冊

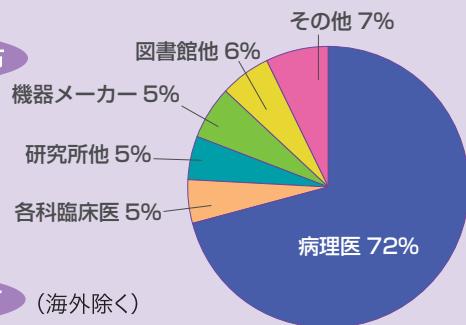
〔発行〕
文光堂
 〒113-0033
 東京都文京区本郷7-2-7
 TEL 03-3813-5478
 FAX 03-3813-7241
<https://www.bunkodo.co.jp>

月刊「病理と臨床」広告掲載のご案内

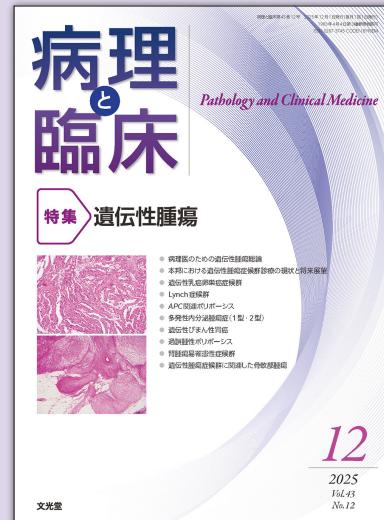
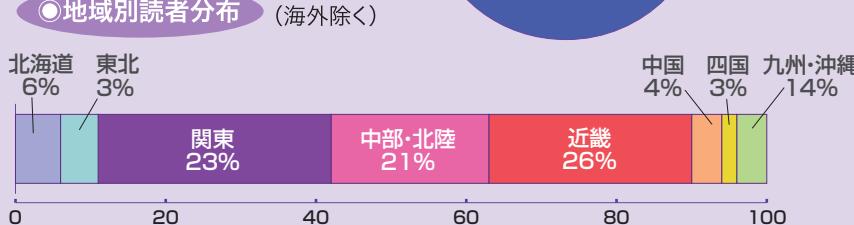
月刊『病理と臨床』は病理医や臨床検査技師などの病理学関係者および臨床医、医学生などを対象にした病理学専門誌として1983年の創刊以来、日常の病理診断に役立つ実用的テーマを厳選して毎号特集として取り上げ、臨床との密接な連携を念頭におきつつ、人体病理学の第一線に必要な病理診断の知識を幅広く紹介しつづけております。連載では若手病理医にとって必要な情報や、病理医が知っていると役に立つ臨床各科の情報などを横断的に紹介しております。また、本誌は日本病理学会の学術機関誌的役割も担っております。つきましては、ぜひ貴社の広告・宣伝スペースとして本誌をご活用くださいますようお願い申し上げます。

【読者分布】

○職種別読者分布



○地域別読者分布



○広告料金表

表4 (4色)

定価 275,000円
 (本体 250,000円+税 10%)

表2 (1色)

定価 110,000円
 (本体 100,000円+税 10%)

表3 (1色)

定価 88,000円
 (本体 80,000円+税 10%)

前付 (1色) 1ページ

定価 88,000円
 (本体 80,000円+税 10%)

記事中 (1色) 1ページ

定価 77,000円
 (本体 70,000円+税 10%)

後付 (1色) 1ページ

定価 66,000円
 (本体 60,000円+税 10%)

後付 (1色) 1/2ページ

定価 38,500円
 (本体 35,000円+税 10%)

綴込 1枚

定価 132,000円
 (本体 120,000円+税 10%)

○広告締切

〔申し込み・広告原稿締め切り日〕発行日の前々月 25 日

○広告原稿

* 判型がB5変型判のため、広告サイズが通常のB5サイズよりも若干大きくなっています。

サイズ：1頁 天地 226mm×左右 165mm, 1/2頁 天地 113mm×左右 165mm, ブリード 天地 262mm×左右 190mm
 形態：完全データ入稿

〔記事体広告料金〕(データ入稿の場合)2色・1頁:定価 143,000円(本体 130,000円+税 10%), 4色・1頁:定価 275,000円(本体 250,000円+税 10%)
 〔完成版納品の場合〕綴込 1枚: 定価 220,000円 (本体 200,000円+税 10%)

〔綴込記事広告についての特記事項〕

○すべての頁に広告である旨を表示してください。例)【記事広告】○○株式会社提供

○事前に、著者名(対談者名)・タイトル・内容を編集部あてにご提出ください(納品締切の1ヶ月前頃にお願いします)。

*査読の結果、掲載をお断りする場合もございます。

○お申し込み先／お問い合わせ先

株式会社 文光堂 広告・宣伝課

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-7

TEL: 03-3813-5478 FAX: 03-3813-7241 MAIL: koukoku@bunkodo.co.jp

【本誌の概要】 日常の病理診断に役立つ実用的テーマを厳選して毎号特集として取り上げ、臨床との密接な連携を念頭におきつつ、人体病理学の第一線に必要な病理診断の知識を幅広く紹介する病理学専門誌。日本病理学会の学術機関誌的役割も担っている。

【編集委員】 編集委員長：大橋健一（東京科学大）

編集委員：牛久哲男（東大） 坂谷貴司（東京慈恵医大） 柴原純二（杏林大）

関根茂樹（慶應大） 南口早智子（藤田医大）

編集顧問：深山正久（東大名誉教授、国保旭中央病院）

【読者対象】 病理医や臨床検査技師などの病理学関係者および臨床医、医学生ほか

本誌の特色

- チーム医療の根幹を支える病理医の必修事項を毎月紹介！
- 医学分野における進歩の道標、実験病理分野の最前線をピックアップ！
- 全臓器をカバーし幅広い知識を必要とする病理医のために、臨床各科との連携記事も充実！
- 医学生、研修医、臨床医にもわかりやすい、オールカラーの病理専門誌！

本誌の構成

わかりやすく読みやすい4色刷りの誌面

- 〈特集〉+〈連載〉+〈その他の関連記事〉

特集

病理学のスタンダードな知識の普及を目的とし、最新の知見やトピックスも盛り込んで構成

特集 エビジェネティクスと病理

神経変性疾患とエビジェネティクス

【問題】 20歳代、女性、黒色便の糞苔で発見された胃粘膜下腫瘍に対する部分切除検体の肉眼像を示す。図Aは粘膜面および観察面（inset）の写真、図Bは剖面の写真。多臓器病変なし。家族歴に直筆すべき点なし。

最も考えられる疾患は何か？

●最近掲載の連載

〈マクロクイズ〉

〈鑑別の森〉

〈病理学基礎研究の最前線〉

…など

病理と臨床

Pathology and Clinical Medicine

特集 遺伝性腫瘍

- 遺伝子の変化による腫瘍性特徴
- 本特集における遺伝子変異の現状と将来展望
- 遺伝子による腫瘍性特徴検査
- Lynch症候群
- APC関連疾患のリスク
- 多発性内分沁腺腫症(1型・2型)
- 遺伝子による腫瘍
- 遺伝子による腫瘍
- 遺伝子による腫瘍
- 遺伝子による腫瘍

12
2025
Vol.42
No.12

文光堂

●臓器別の疾患特集を中心に、病理専門医試験対策や基礎的事項のおさらいにも役立つ内容。

●2号にわたる大型特集、さらに実験病理学の最前線などをWHO分類や取扱い規約の改訂、そのときどきのトピックス性を鑑みて選定している。

連載

日常病理診断に有用な実用的テーマを厳選し、ベテランの病理医が「鑑別診断」「組織の見方」など、若手病理医にとってぜひとも必要な情報を提供。

また、画像診断や神経疾患の診断など、病理医が知っていると役立つ、臨床各科の情報を横断的に紹介。

そのほかの関連記事

CPC解説、今月の話題、投稿記事のほか、書評、勉強会の案内をお知らせするInformationなど、情報記事も充実。

*東京大学医学部病理科人形病院・病理学・病理科学

03-5742-2416 (受付) 03-5742-2416 (JCI)

病理と臨床 2024 Vol.42 No.9 | 0919